

8-4-27 社会マネジメント技術委員会

1. 主な活動の記録

(1) 委員会の開催

令和7年度の社会マネジメント技術委員会は、7月に1回開催した。委員会を開催しない月はメール等を活用し、上位委員会からの依頼事項や傘下の専門委員会に関する情報交換を実施した。

(2) 専門委員会の事業内容等について

本技術委員会傘下の専門委員会における令和7年度の主な活動内容等について以下に示す。

a) 都市計画専門委員会：Web形式やメールでのやり取りにより協議等を実施した。また、技術部会等からの要請により、RCCM 更新 CD の教材の見直しを行った。

b) 参加型計画専門委員会：専門委員会を10回、講習会1回、勉強会3回開催した。①10月には2箇所（会津若松市、小諸市）のヒアリングと視察を実施、②11月には地方DAOに関する勉強会を行い、③1月には①の成果を紹介すると共に、「人口減少時代と関係人口」と題した講演会を開催し、参加型計画の新しいアプローチについての意見交換を行った（Web開催で約145名が参加）。

c) 政策・事業評価専門委員会：専門委員会を5回、セミナー1回、現地視察1回を開催した。①9月には、現地視察として、JR広島駅ビル2階への路面電車の乗り入れや、公園エリアマネジメントの取組等を有する広島市を対象に実施、②12月には「人口減少下における災害対策・都市政策の今後のありかたとコンサルタントの役割」と題したセミナーを開催（Web開催で196名が参加）した。

d) 環境専門委員会：通常委員会・勉強会を6回開催した。①10月（10/22～23の2日間）には、熊本県熊本市・人吉市において「共創する流域治水 ～災害に強く自立した地域づくりへ～」と題した講演会と現地見学会を開催、②RCCM 建設環境分野の資格更新講習に用い

るテキスト等について改訂作業を継承実施、③更には、公共工事の環境負荷低減施策推進委員会（国交省）等の外部委員会への参加を行った。

e) 施工管理専門委員会：①継続実施の RCCM 教材を作成、②令和6年度に会員各社が受注した施工管理業務の実態についてアンケート調査を実施し、契約内容、職場環境等の調査を行い報告書として取りまとめた。

f) 国土情報専門委員会：専門委員会を7回、セミナーを1回開催した。①集水域から氾濫域までを一つの流域と捉え、分野横断的に流域全体で水害を軽減させることを目的に数年かけて取り組んできた流域情報基盤の検討結果を取りまとめた、②10月には、①の成果紹介および討議することを目的とした協会会員向けのセミナーを開催した（Web開催で180名が参加）。

g) 自動運転WG：WGを5回開催した。①調査研究テーマ（国の政策や道路空間等の動向、まちづくり・公共交通との関係、制度設計や地域実装・提供サービスの動向等）について情報収集・整理を行った、②自動運転バス社会実装の先進事例である茨城県日立市 BRT の視察を行い、結果を取りまとめた。

(3) 個別検討テーマへの対応

統括技術委員会等からの当委員会への依頼事項での主な検討内容である、「DX テーマ3：街・地域づくりのDX推進（エリアマネジメントに資するDX）」に関して、令和3年度～7年度の総括を取りまとめた。

2. 次年度の活動について

社会マネジメント技術委員会として、令和元年度から始まった本事業を引き続き実施する。

(1) 事業計画に基づく技術委員会の定例的活動

(2) 委員会が対応すべき分野横断的な諸テーマの検討、特に技術部会や統括技術委員会等から依頼される各種検討事項等への対応

（社会マネジメント技術委員会委員長 篠崎 毅）